

Title	大阪大学古代中世文学研究会編 『皇統迭立と文学形成』
Author(s)	
Citation	詞林. 2009, 46, p. 88-88
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/67606">https://hdl.handle.net/11094/67606</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

大阪大学古代中世文学研究会編

『皇統迭立と文学形成』

第一部 平安朝に於ける皇統迭立と文学形成

天智系としての宇多天皇

—菅原道真「崇福寺綵錦宝幢記」をめぐって—

拾遺和歌集と天皇

—天元二年（九七九）十月田融院三尺屏風を中心に—

『伊勢物語』における清和天皇

光源氏と〈皇統〉—高麗の相人の言をめぐって—

『大鏡』における皇統—冷泉系と円融系を中心に—

第二部 中世の皇統迭立と文学形成

I 院政期から中世への視界

坂上の宝剣と壺切

—談話録に見る皇統・儀礼の古代と中世—

天皇の代替わりと『讃岐典侍日記』

—鳥羽天皇から見る下巻の位置づけ—

「鳥羽法皇六十日大般若講願文」における罪の意識

—院政期願文における「治天の君」像補説—

承久の乱前後の菅原為長と願文

—後高倉院および鎌倉幕府との関係を中心に—

楽器と王権

II 両統迭立期から中世後期への視界

『とはすがたり』における両統迭立

—禁色の唐衣を視座として—

法守とその時代—『徒然草』仁和寺関連章段の背景—

『新葉和歌集』における後醍醐天皇の待遇と南朝の来歴

仙源抄の定家本源氏物語

第三部 皇統と文学伝受—中世から近世へ

確立期の御所伝受と和歌の家

—幽斎相伝の典籍・文書類の伝領と禁裏古今伝受資料の作成をめぐって—

近衛基熙の『源氏物語』書写

—陽明文庫蔵基熙自筆本をめぐって—

定価一〇、五〇〇円（本体一〇、〇〇〇円）

和泉書院、二〇〇九年七月刊行

滝川 幸司

田島 智子

木下 美佳

藤井由紀子

石原のり子

荒木 浩

丹下 暖子

仁木 夏実

中川 真弓

中原 香苗

高嶋 藍

米田真理子

勢田 道生

加藤 洋介

海野 圭介

川崎佐知子